



第34回 市教組定期大会、開催される！NO.8

今大会の総括討論です。

中村代議員の総括討論



昨年私はこの場で、小宮けいこ議員再選の訴えをさせていただきました。北九州市教職員組合団結の力で小宮市議を再選することが出来ました。小宮議員は、当選直後の予算議会でも、教育予算について市長へ具体的な要望を出してくれました。2期目も、私たちの力になってくださること間違いなしです。

私たちは戦争の反省の下に教え子を戦場に送らないと決意し、民主教育の担い手となりました。北九州市教職員組合の一人としてその道を歩んできたことを誇りに思っています。総括討論のチャンスをいただいたので、私たちが積み重ねてきた組合力について、私の経験からお話させて下さい。

80年代の終わり、ある保護者から、教育内容は、保護者、子ども、教職員が一緒に作っていくものだと言われました。教員の教育権は憲法の学問の自由の中で保障され平和な社会を支える柱です。子ども自身や、子どもの健やかな成長めざす親の願いを、教育内容に組み入れていくことは現場にいる教職員にしかできません。私たちは、大きな社会的役割を担っています。組合に属して実践をすることでそのことを実感してきました。

私が北九州市に就職したころ当事者が声を上げ人権獲得の運動が盛んでした。色んな人権課題を知りました。戦争中炭鉱に強制的に連れて来られた朝鮮半島の方々の証言や、在日朝鮮人の方が外国人登録証に指紋押捺をさせられているということを聞いて、日本の差別的な政策が続いていることを知りました。1991年には日本軍性奴隷にされたキムハクスンさんの証言も聞きました。教材研究をちゃんとしなくてはと、家永三郎さんの本を読んで教科書に載っていない侵略や植民地支配のことを調べたり、今、夜間学級におられる林先生らがされていた「在日朝鮮人教育を考える会」に参加して勉強したりしました。

母子家庭だった私の家のコメ作りを助けてくださった朝鮮人の方が、なぜ中国地方の山村におられたのか、その謎が解き明かされていきました。国の加害の歴史の延長上に私が居ることを知り自分がすべきことを考えるようになりました。学んだことを社会科の授業に生かしていきました。クラスの子が、私のおばあちゃんは韓国から来たんですよ。と自分から話してくれて共通の話題にできたことが嬉しかったです。1年生を担当した時、子どもを本名で通わせたいという在日朝鮮人の方がおられました。奪われたアイデンティティを取り返す生き方を選ばれたご家族の、お手伝い出来ることを嬉しく思いました。

ぺさんとオモニの話を聞いたのもこのころでした。家族が日本の侵略戦争で酷い目にあわされているにも関わらず、「戦争はいけない仲良くね」と、わたしや子どもたちに優しく語りかけて下さったのです。赴任した学校では、ずっとぺさんに授業をしていただきました。高校では、ぺさんに会っている生徒がたくさんいて、「ぺさん知っとる！」でなかよくなるのだそうです。ぺさんの後を継ぎ平和と共生の営みははじめたという在日3世の方に出会いました。ほんらいは、あのような戦争は二度としないと決意し、日本政府と私たち日本人がすることです。しかし日本は朝鮮高校だけ授業料無償の対象から外すなどいじめのような政策を続けています。これから、日本の子どもたちが隣人として信頼され、友人となれるように、教職員としてできることを考え、共に実践していきたいと思えます。(NO.18につづく)

わからないこと・困ったことがあったら…

何でも気軽にお問い合わせください！



///JTU 北九州市教職員組合 〒802-0072 小倉北区東篠崎3丁目4-1

E-mail:jtuhokyu@lime.ocn.ne.jp

北九州教育会館 TEL(093)953-0381

